



運動会、全力で楽しみました(10/18)

今回の学校だよりは運動会特集として、早川小学校の運動会の様子を詳しくお伝えします。児童数の減少もあり、今年度から赤白2チームの対抗になりました。雨の日が多い10月でしたが、気持ちのよい秋空の下で運動会を実施することができました。10月とはいって、日差しが強くなる時があるため、今年も地域の方にお願いをして、児童席にテントを準備していただきました。朝



早くから本当にありがとうございました。

運動会のスローガンは「勝利にむかって走りきれ！運動会！」です。全力で頑張りたいという子どもたちの思いが込められています。運動会前日、4年生以上の子どもたちは係ごとに準備を行いました。その締めくくりに応援団長の6年生が「明日は全力で楽しみましょう」と、気合の入った声でみんなに呼び掛けていました。天気予報以上に熱くなりそうだなと思いました。



運動会当日、登校してくる子どもたちは意気揚々としています。早めに来た上學年の子たちは準備に大忙しました。開会式では、児童代表の言葉や得点説明など、しっかりと話す姿に感心しました。応援団長は、そ

れぞれの個性を生かしてチームのみんなに呼び掛け士気を高めました。

今年から準備運動は、地域でやっているラジオ体操にしました。夏休みもやっていたので、みんな上手に体をほぐしました。



競技は選択式の短距離走・障害物走からスタートです。短距離走は低学年50m、中学年80m、高学年100m走ります。障害物走はハードル、網くぐり、麻袋ジャンプをこなしてゴールをめざします。最後まで全力でゴールを目指す姿がすばらしいです。



ブロックごとの団体種目は、異学年のペアが協力してゴールをめざします。高学年は「二人三脚 de 大騒ぎ！」、中学年は「みかねこ宅配便」、低学年は「大だまごー！」です。日頃の関係のよさが表れていました。応援団を中心に頑張る子たちに声援を送ります。



表現は昨年度までペア学年で行っていましたが、今年は上學年と下學年に分かれて行いました。上學年は「えっさほい」と「ソーラン節」を踊りました。和太鼓の音での移動や、力強い動きがかっこよかったです。下學年の「1・2・3ダンス」は、ダンス実行委員が振り付け

を考えました。「怪獣の花歌」や「ライラック」など流行の曲で楽しく踊りました。職員こだわりの「Get Wild」は、応援に来てくれた保護者や地域の方を意識したと担当職員は語っていました。長い時間かけて練習してきただけあって、どちらの演技も切れのある動きがとてもよかったです。熱くなった目頭から涙がこぼれないよう必死に見つめる担任の姿が印象的でした。



縦割り班のなかよし班種目もリニューアルしました。2種目から班ごとに選択しました。一つは「ともだちハンティング」。これは、「白い服を着ている人」「この学校の卒業生」など、会場に来ている人たちを集めてくる競技です。「誰かいませんか」の呼びかけにすんで参加してくださった皆さんありがとうございました。地域の方たちとの距離が少し近くなりました。二つ目の「みかねこアタック」は、テーブルに積まれた箱にボールをぶつけて落とします。みんなよく狙って投げるのですが、なかなか当たらないのが楽しいところです。



運動会の締めくくりは全校リレーです。体育学習で学んだバトンゾーンを有効に使って、少しでも早くゴールをめざします。早川小学校の伝統的な種目です。各色を2チームに分け4チームで競いました。高学年の迫力ある走りに圧倒されました。



結果、わずかの差で赤組が優勝しました。勝ち負けはありましたがあが、全力を出し切った子どもたちはいい表情をしていました。閉会式の後、率先してテントなど

の片づけに力を貸してくださいました。ありがとうございました。

体育主任が提案した「子どもたちが運動会の主役として、自分たちの手で作り上げる喜びを味わえる運動会」を全職員で共有し、子どもたちの活躍の場がたくさん見られた運動会になりました。

学校運営協議会(10/23)

第2回学校運営協議会を開催しました。この協議会は保護者や地域諸団体の代表により組織されています。今年度も「子どもたちと地域の大人の顔の見える関係づくり」をテーマにあいさつ運動ややかわ親子フェスタ、樹木伐採や草刈りなどを行っています。今後、防災訓練やグランドゴルフなどの地域行事があります。それにたくさんの子どもたちが参加できるよう、子どもたちへのPRを工夫していくこととなりました。また、SOS子ども 110 番かけこみ所についての確認についても話題になりました。



学校保健委員会(10/30)

学校保健委員会は子どもたちが元気に過ごすためのことをみんなで考える会です。今回は心の元気について考えました。保健委員会の子どもたちがとったアンケートによると、「自分のことが好き」「自分にはよいところがある」という質問に多くの子が肯定的に回答していますが、学年が上がるほどその数は少なくなるそうです。リフレーミングという話もありました。短所や改善したいところについて見方や考え方を変えるというものです。例えば飽きっぽい人は、様々なことに関心を持てる人というように見方を変えることで長所として考えるというものだそうです。人とのかかわり方も心の元気につながります。相手が嫌に思う言葉ではなく、うれしいなって思えるふわふわ言葉をなかよし班のみんなで考えました。「だいすきだよ」「ドンマイ」「いつもありがとう」など1番のふわふわ言葉を班ごとに発表しました。優しい言葉が学校中に広がるといいです。

